

地域活性化部門賞

キッズ安心サービス（マイカルテカードシステム）

株式会社レノメディカ

カードのICチップに所持者属性等の情報等を直接書き込むことで、センターサーバーのいらぬ低廉で応用分野の広い安心・安全のカードシステムを実現します。

サービス・システムの狙い

- 学童保育所、学校、区民館等に設置した読取装置にカードをかざすだけで安否連絡を送信することが可能です。震災等災害時にも簡単に運用することができます。
- カード所持者が、どこの医療機関に行っても容易にアレルギー情報等の禁忌情報を確認できるよう、カード読取装置を設置する施設側の経済的な負担を極限まで軽減します。

利活用の状況と導入効果

- 都内自治体、区民館、学童保育所（現在実証事業中）が主体となって、平成20年9月に導入開始。
- センターサーバー、アクティブ型ICタグを用いた同人数規模の安否確認サービスと比較して、1/20のコストを実現します。
- 導入にあたり、機器設置2時間、操作方法説明1時間程度で運用を始めることができます。

キッズ安心サービス（マイカルテカードシステム）の特徴

- 安価なカード読取装置とパソコンによるシステムのため手軽に導入することができます。
- 専用線等の運用費やシステム管理者が不要で、サービスを提供する拠点の増加にも柔軟に対応します。
- 商店や子ども110番でもサービスの提供が可能であり地域活性化に貢献します。
- 個人情報情報はカードに格納しますので個人情報を管理する負担はありません。

マイカルテカード [リリカ] 株式会社レノメディカ

マイカルテカード「リリカ」は「持ち歩けるカルテ」からスタートしました

PCなどに接続したカードリーダーに置くだけで、現在ではその搭載機能は幅広く広がり、かざすだけで診療券、ポイントカード、図書館カード、自治体の保険証、社員証、Edyなど、1枚のカードで色々な用途にご利用が可能

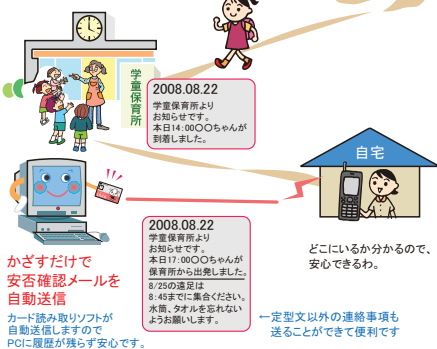
オフラインでも多くの情報が読み出せます

カードリーダーにかざすだけで



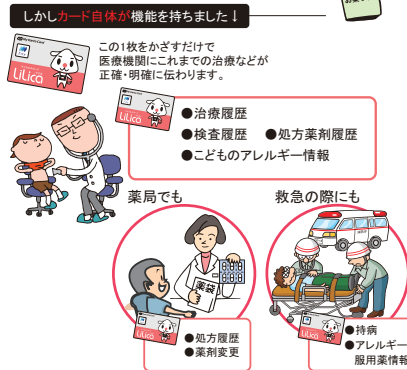
自治体の学童保育で

小学校が終わってから約80万人が向かう学童保育。無事に到着したことは勿論ですが、学童保育先から外出して帰ってくることもあり子どもたちがちゃんと戻ってきたか確認しなくてはなりません。



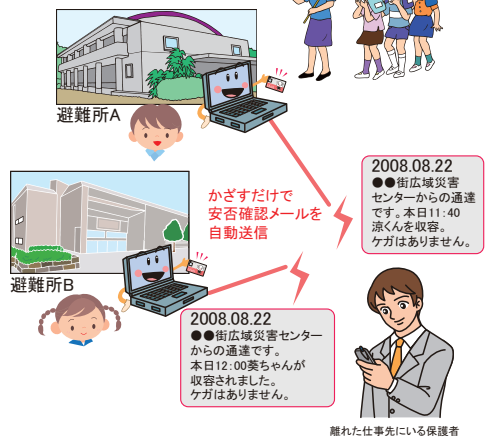
もしものケガや病気の時にも

次々と増えていく診療券の枚数。新たな病院受診ごとに治療や検査履歴を1から申告。カードには認識記号だけしか入っていません。



地震など被災した際の安否確認にも

地震など被災した場合、学校のエリアによって兄弟姉妹でも違う避難所に収容されることは、かなり高い確率で起こります。



● 本件お問い合わせ先

株式会社レノメディカ カード事業部 システム課 TEL: 03-6226-6727
E-mail: lilica@renomedica.co.jp http://www.mykartecard.com/